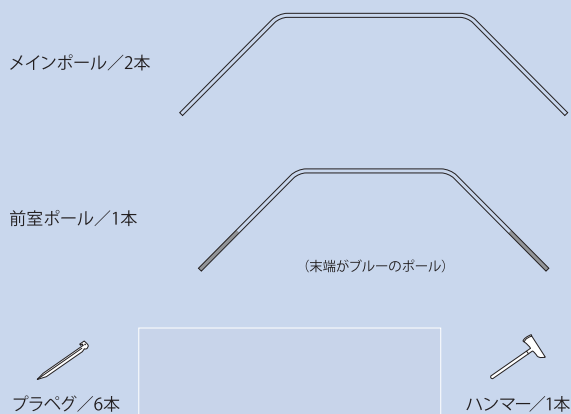


1 パーツを確認します



内幕・外幕と上記のパーツがセットされているか確認します。

→ フレームはあらかじめ、肩部にベント(曲げ)加工が施されています。

2 内幕を広げ、ピンで固定します。

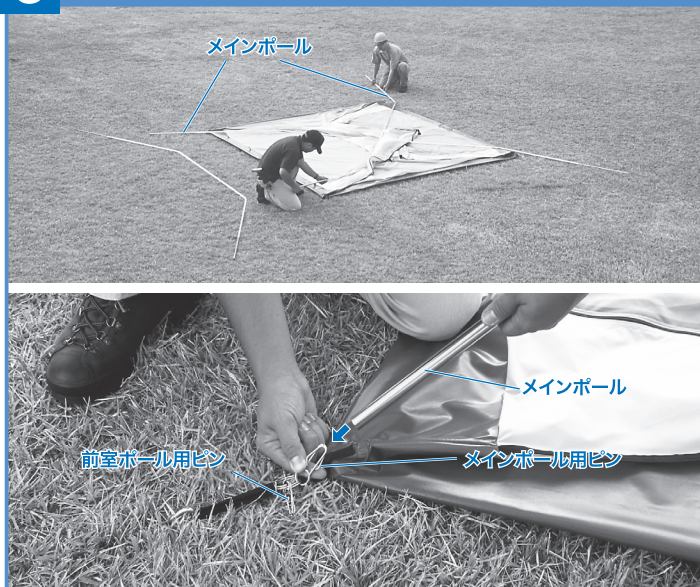


テントサイトを選び整地します。

内幕に空気が入りやすいように入り口ファスナーを1/3程開け、グラウンドシートがシワにならないように地面に広げます。

→ 内幕はピン&リング(金属製の部品)が付いている箇所がグラウンドシート(地面に接する面)の四隅です。

3 フレームを固定します。



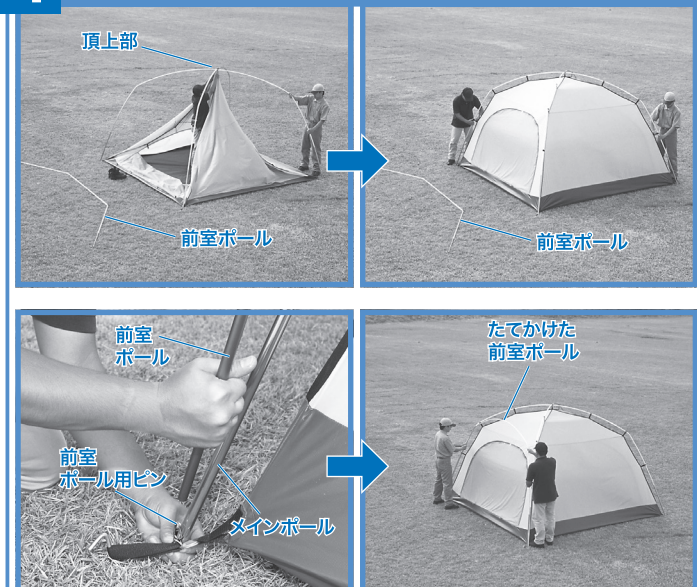
内幕四隅のピン&リングに2本のメインポールが交換するようにそれぞれ固定します。

ポール下端部にピンを差し込んでください。

出入口側(前室側)のピンにメインポール用ピン、前室ポール用ピンがあります。大きい方のピンにはメインポールを差し込んでください。

(小さい方のピンには、前室ポールを4の工程で差し込みます。)

4 フックをフレームに固定します。

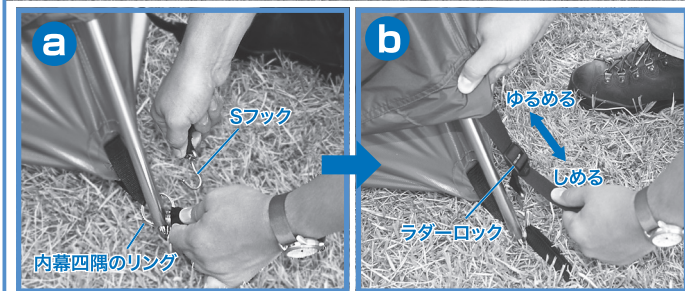


まず、頂上部に付いているプラスチックフックを固定し、(交差している上側のフレームに固定します。)次にその他のフックを順番に固定していきます。

前室ポールを前室ポール用ピン(小さい方のピン)に差し込み、一時的に内幕に立て掛けてください。

→ フレームの肩部に固定するフックが一番テンション(張る力)がかかります。一方の手でフレームを押さえ込んで、もう一方の手でフックを固定すれば固定しやすくなります。

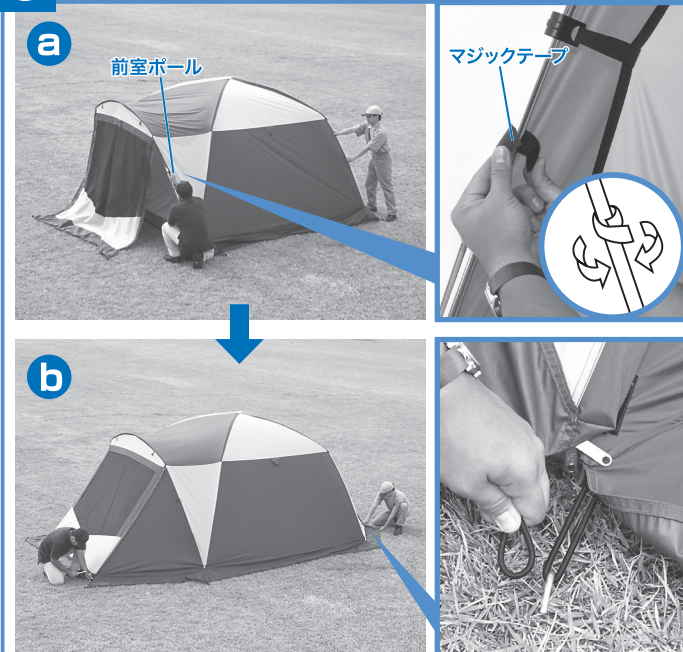
5 フライシートをかぶせます



フライシートの前後を確認し、本体にかぶせます。
(前室ポールはまだ一時的に本体に立て掛けたままにしておきます。)

- a フライシートの縫い目とフレームが合うように整えた後、内幕四隅のリングに、フライシート裾部についているSフックを引っ掛け、固定してください。
- b 裾部のフックはラダーロックにより長さの調節ができます。フライシートに均等にテンションが掛かるように調節してください。

6 フライシートを固定します



- a フライシート前後のファスナーを開け、フライシート内側のマジックテープ(メインフレーム肩部分)をフレームに巻き付けてください。次に、本体に立て掛けてあった前室ポールを前方に押し出し、同様にマジックテープで固定してください。

* ご注意

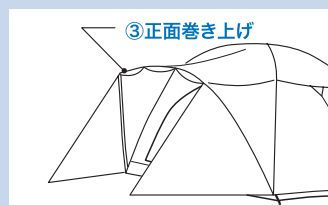
テントを張る前に、テントの下のご石ころや松ぼっくり、松の枝などを取り除いてください。

アルミのポールはジョイント式になっています、必ずしっかり奥まで差し込んでください。折損の原因になります。

レンタルテント内での火の取扱いはおやめください。また、たばこ・火を使ったランタン等の使用は禁止します。

撤収の時には、テントの中の忘れ物がないように確認し、なるべくテントを乾かして折りたたんでください。

■前室機能の説明



- ① 出入口/前室正面はペグで固定したままにしておき、前室側面から出入りすれば、雨の日などに便利です。
- ② 換気/ 前室正面のベンチレーターは夜間や暖かい日の換気に便利です。
- ③ 正面巻き上げ/ 前室正面は夏場など、より風を通したい時に巻き上げることが出来ます。